

奈良県大和郡山市におけるジェネリック医薬品利用促進の取り組みについて

1. 大和郡山市国民健康保険被保険者数等（平成 23 年 7 月末現在）

人口	国民健康保険被保険者数
90,362 人	24,680 人

2. ジェネリック医薬品利用促進の取り組み

(1) 市広報誌、ホームページでの広報

(2) ジェネリック医薬品希望カードの配布

(3) 後発医薬品利用差額通知の送付

- ・平成 22 年 10 月より開始（4 ヶ月に 1 回）
- ・調剤レセプトを対象
- ・生活習慣病に関わる薬など、継続して服用することの多い薬に限定して実施
- ・一定以上の削減効果が見込まれる者を対象
- ・年齢制限なし

3. ジェネリック医薬品利用状況

(1) 数量ベース利用率推移

調剤年月	利用率	増減
平成 22 年 5 月	25.4 %	
平成 23 年 5 月	27.5 %	+ 2.1 %

(2) 差額通知送付者の切り替え状況（平成 23 年 5 月調剤分）

差額通知送付人数（合計）	ジェネリック医薬品に切り替えた人数	切り替えによる医療費削減額
1,318 人	164 人	約 400 千円/月

(3) 初回（平成 22 年 10 月）発送者の切り替え状況推移

調剤年月	送付人数	切り替え人数	増減
平成 22 年 11 月	977 人	94 人	
平成 23 年 5 月	977 人	126 人	+ 32 人

ジェネリック医薬品についてのお知らせ

あなたに処方されたお薬を、主成分（薬効成分）が同一のジェネリック医薬品に変更した場合に、軽減できる可能性のある金額を、参考までにご紹介します。比較的ジェネリック医薬品に切り替えやすいお薬を中心にご案内します。

なお、院内処方では、ジェネリック医薬品に対応できない場合もございます。

コオリヤマ タロウ 様

8



このお知らせは、ジェネリック医薬品への変更を強要するものではありません。みなさんがジェネリック医薬品を使うかどうかの参考資料としてお役立てください。

ジェネリック医薬品の効き方などには個人差があります。また、症状などにより切り替えができない場合もあります。ジェネリック医薬品への切り替えを考えるときには、医師・薬剤師に十分にご相談ください。

被保険者番号：奈3 9999

平成22年 6月に処方されたお薬					ジェネリック医薬品に切り替えた場合	
お薬の名前	単価	数量	単位	自己負担 ※ (3割負担)	自己負担 (見込み)	差額
リポバス錠5 5mg	128.9	28.0	錠	1,083	707	376 ~
ベイスン錠0.2 0.2mg	43.5	105.0	錠	1,370	898	472 ~
アダラートCR錠20mg	37.7	70.0	錠	792	468	324 ~
合計				3,245	2,073	1,172 ~

※ 自己負担は、薬代のみで試算しています。実際に薬局などで支払う金額には、調剤料、指導料などが含まれています。また、国や市などから医療助成を受けておられる場合には、実際の支払額と異なる場合があります。

上記のお薬を、よく流通しているジェネリック医薬品に切り替えた場合、

お薬代のみで試算した軽減可能額は、 **1,172 円～** が見込まれます。

- ◆このお知らせは、平成22年 6月分の調剤レセプトから作成し、個人ごとにお送りしています。現在、すでにジェネリック医薬品に切り替えがお済みの方や、すでに大和郡山市国民健康保険をやめている方にもお送りしている場合がありますので、ご容赦ください。
- ◆実際に処方された薬を主成分（薬効成分）が同一のジェネリック医薬品に切り替えた場合、どの程度薬代が軽減できるかをご紹介しますが、ジェネリック医薬品は複数存在する場合がありますので、軽減が見込まれる金額にも幅があります。
- ◆ジェネリック医薬品に変更しても、薬局などでの支払額が下がらない場合もあります。

このお知らせについてのお問い合わせは・・・
大和郡山市役所 保険年金課 電話 0743-53-1151 (代)